

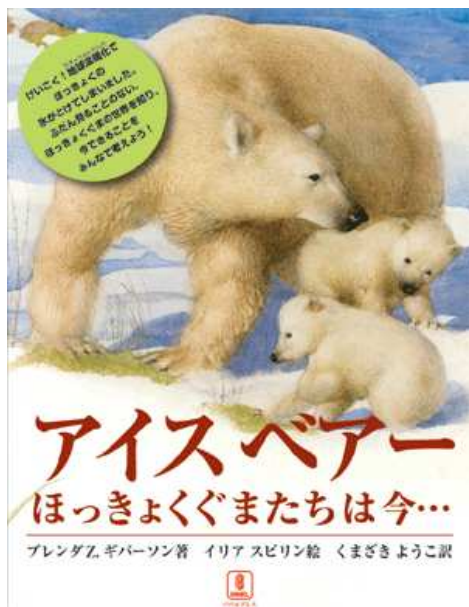


ICE BEARS

『アイスベアー ～ほっきょくぐまたちは今・・・』

～警告！地球温暖化で北極の氷がとけてしまいました。

ふだん見ることのない、北極ぐまの世界を知り、今できることを親子で考えるきっかけに！



舞台は真冬の北極。ある、凍えそうに寒い日に、ほっきょくぐまの赤ちゃんが2頭生まれるところから、この物語は始まります。

お母さんぐまは子ぐまたちが厳しい自然界で生きていけるよう、さまざまな知恵を授けていきます。冬、春、夏、秋、そしてまたやってくる冬。一年を通じた、彼らの暮らしぶり、子ぐまへのしつけ、子ぐまの成長、他の生物との共存など、現実には過酷でありながらも、やわらかい語り口には、著者のあたたかさが感じられます。そして、一瞬写真かと見まごうほどの、やさしいタッチで描かれたすばらしい絵の数々に、思わず息をのんでしまうことでしょう。彩り豊かな四季をとおして、過酷な北極で生活をする彼らが、力強く、ときにはやさしく、文章と絵で表現されていて、大人も楽しめる、読み応えのある作品に仕上がっています。

この本に登場するほっきょくぐま以外にも、現在さまざまな生き物の生活を脅かしているのが温暖化です。氷がとけて、無数の生き物たちが生きていくのが困難な状況に陥っています。彼らを、そして地球を守るために、わたしたち一人ひとりに今なにができるのか、考えさせるきっかけを本書は与えてくれるはず。動物園でしか見たことのない、ほっきょくぐまの本当の世界をのぞいて見ませんか？ 読み終えたあと、何か大きなものがこころに残る、すてきな作品です。

発売日：2011年5月16日予定
(全国書店・ネット書店)

ジャンル：絵本、環境
読者層：小学校1年生以上

定価：1,500円+税(1,575円)
著者：ブレンダ Z. ギバーソン
イラスト：イリア スピリン
訳者：熊崎 洋子(くまざきようこ)
出版社：バベルプレス
判型：285mm × 225mm
頁：38ページ
ISBN：978-4-89449-115-1

【著者】ブレンダ Z. ギバーソン

アメリカ人の児童向け作家、イラストレーター。ほとんどの時間を川や森で費やし、珍しい動物や植物が、厳しい環境のなかでどう生きていくのか、ということに深い興味を抱いている。このような科学的な側面は、彼女の作品に数多くみられる。“Mud City”、“Rain, Rain, Rain Forest”、“The Emperor Lays an Egg”、ベストセラーとなった“Cactus Hotel”(『サボテンホテル』三河内彰子訳 福音館 2000年)などがある。最新刊“Moon Bear”(2010)も、クマが主人公の物語となっている。現在はワシントン州、シアトル近郊に在住。

【イラスト】イリア スピリン

ロシア共和国、モスクワに生まれる。1991年、アメリカへ移住。子どもの頃、著名な美術コンテストで、いくつもの賞を受賞。21歳のときに、ニュージャージー州のウエスト・ウインザー・ライブラリーで壁画を描いた。父親ジーナディ・スピリンの仕事を受け継ぎ、現在は絵本のイラストを手がけている。ニュージャージー州、プリンストン在住。

【本件に関する問い合わせはこちら】

TEL:03-5211-3727 email:press@babel.co.jp

(担当:藪下)バベルプレス(株式会社バベル)HP:http://www.egaiasyoten.com/

Google

eガイア書店

検索

クリック！